

「第2回なすかしの森ワンダーキッズキャンプ  
～チャレンジ！ソロキャン～」報告

令和2年9月12日（土）～13日（日）1泊2日



【目的・趣旨】

平成25年に国土強靱化基本法が制定され、防災・減災の包括的推進が求められる現代において児童・生徒にも心構えだけでなく、基本的な知識や技術の育成が求められている。そのような実態を踏まえ、当施設では小中学生が仲間とともに協働宿泊体験を通して防災スキル等を身につけながら、助け合うことの大切さに気づき、普段の生活にも生きる考え方や態度を養うことを目的とした。また、その目的に迫るために今日的な課題への意識付けを行いながら、利用者が「普段の生活に活かせる」と思えるようなプログラムを提供する。

第2回は、「チャレンジ！ソロキャン」をテーマに1泊2日で、バーナー炊事・ドラム缶風呂や一人テント泊体験を行い、火や他者の存在が生活に欠かせないものであることに気づき、防災意識を高めるきっかけになることを目的としてプログラムを企画した。

【連携先】

・NPO法人 那須高原自然学校

【募集対象／実績】

《募集対象》小学3年生～中学3年生 10名程度

《実績》11名（小3／1名、小4／4名、小5／3名、小6／2名、中1／1名）

【プログラム概要】

【1日目】令和2年9月12日（土） 天候：雨

13：00 集合・受付 [玄関ホール]

13：30 出合いのつどい [プレイホール]

13：50 バーナー体験 [エコルーム2]

バーナーの組立て、お湯を沸かしてお茶会を実施した。

15：00 テント設営 [プレイホール]

参加者それぞれが泊まるテントの設営、マット・シュラフを広げて寝床の準備をした。

16：00 バーナー炊事① [エコルーム2]

お湯を沸かしてアルファ米おにぎり野菜スープを調理した。

17：30 ドラム缶風呂 [エコルーム2 軒下]

バケツリレーで水を運び、薪で火をおこしてドラム缶風呂に入浴した。

20：30 明日の連絡・就寝準備 [プレイホール]

22：00 就寝 [プレイホール]



【2日目】令和2年9月13日（日） 天候：曇のち雨

06：00 起床

06：30 バーナー炊事② [ピロティ]

ホットサンドの調理と缶詰ゼリー作りを実施した。

08：45 かまど作り [ピロティ]

耐火レンガを用いてのかまど作りを各自で実施した。

09：30 薪拾い [わくわく広場]

フィールドに出て、燃えそうな枝や葉を集めた。



11:30 スペシャル炊事 [エコルーム2]

かまどで空き缶を使ってご飯を炊き、バーナーで牛丼の具を調理した。

14:15 振り返り・アンケート記入 [プレイホール]

14:30 別れのつどい [プレイホール]

15:00 解散 [玄関ホール]

### 【成果】

- ・前日の段階で雨天時プログラムに決定し、安全面に十分配慮して活動を行うことができた。
- ・バーナー炊事では、初めのうちこそ緊張と不慣れな手つきで戸惑う姿が見られたが、回を重ねるごとにスムーズに組み立ててお湯を沸かしたり、コッヘルやホットサンドメーカーを活用して煮る・焼くなどの調理をしたりできるようになった。
- ・テント設営では、ボランティアスタッフ3名の支援を受けながらも友達と協力してテントの設営を行う姿が見られた。また、ランタンの灯りを活用して各自が就寝準備を進めることができた。
- ・ドラム缶風呂では、バケツリレーで水を運んだり、薪を上手にくべて火をおこしたりして風呂を沸かすことができた。時間はかかってしまったが、参加者それぞれが苦勞して沸かしたドラム缶風呂を楽しんでいた。

#### 《参加者の声》

「バーナーでやった料理がとてもおいしかった。また家で作りたい。」「一人で寝るのが初めてだったのでドキドキした。」「災害が起きたときには学んだことを活かして、身の回りにあるものを使っていきたい。」「みんなで協力してテントを立てたり、ドラム缶風呂用の水をバケツリレーで運んだりしたことがとても楽しかった。」「防災の時に役に立つことを学んだけれど、普段の生活にも取り入れていきたい。」等

### 【課題と方策】

- ・2日間の活動内容が盛り沢山であったこと、また必要な道具類の状態を十分に把握していなかったために時間が押してしまい、テントを片づける時間を確保することができなかったことが課題である。使用した道具類の片づけまでが今回のねらいに迫るために必要な活動であり、今後の方策として、時間や動線を考慮したゆとりある細案の作成とより計画的な企画・運営の進行が必要である。

国立那須甲子青少年自然の家 [作成] 企画指導専門職：海野 裕太

